

～～第8763回～～

荒船山

～R1. 9. 23～

台風17号の接近により天気が危ぶまれる中、下仁田町の天気予報「曇のち晴」を頼りに出発する。途中の天気に一喜一憂しながら北上を続け、八千穂高原ICから佐久南ICまで中部横断道を走る。無料なのでありがたい。ICを降りたところに道の駅ヘルシーテラス佐久南があり、農産物の品揃えも豊富だ。30分ほど買い物休憩し、果物や野菜を大量に買い込む。これで山行目的の半分は果たされた。国道254号を東進する。この辺りはコスモス街道と呼ばれ、沿道にコスモスが咲き乱れている。内山隧道の手前を右折し、狭い山道を内山峠へ上る。駐車場には車が2台止まっているだけ。簡易トイレは10月まで設置されている。雨具は必要ないものの、雨上がりの地面はぬかるんでいる。傾斜は緩やかだが、アップダウンを繰り返し林の中を少しずつ上ってゆく。鱸岩手前の岩場は、濡れて滑りやすい。下りが難しそうだ。ここを登り切れば、鱸岩の上に出る。展望台で昼食。谷には霧が充満し、雲が厚く浅間山・妙義山などの眺望はない。横に切り立った断崖の一部は見えるものの、全貌はわからない。「クレヨンしんちゃん」の作者、臼井儀人氏が転落したところだ。下を覗きたいのを我慢する。徐々に天気は回復してきているので、帰りの景色に期待して経塚山を目指す。山上は林の中の平坦な道で、最後に斜面を一登りすると経塚山だ。荒船山の最高地点だが、岩の祠があるだけで展望はない。鱸岩に戻って後は下るのみ。滑らないように注意して下山する。内山峠に近づくと木々の間から鱸岩が姿を現し、高さ200mの大絶壁に息をのむ。峠からバスに乗り、牧場方面へ進むと霧の晴れた岩壁が全容を現す。巨艦の船尾を思わせる垂直に切れ落ちた岩壁のそそり立つ姿は圧巻だ。下仁田町営「荒船の湯」は赤字続きのため、9/29をもって休業するそう。残念だが、最後の一風呂を浴びて帰る。

参加者：13名（静岡北2、藤枝11）

天気：雨のち曇り

地図：荒船山

コースタイム：藤枝500＝内山峠935-45…鱸岩1140-1215…経塚山1250-55…鱸岩1335…内山峠1520-30＝荒船の湯1600-1700＝藤枝2140

記録：藤枝支部 ゆ記



浸食によりできたメサ地形の荒船山鱸岩(ともいわ)